

こんなに便利、こんなに貢献。

8月19日はバイクの日
ヒトとバイクの
未来を考える

THINK
BIKE

二輪車の価値を 見直してみませんか

— より快適な交通社会をめざして —

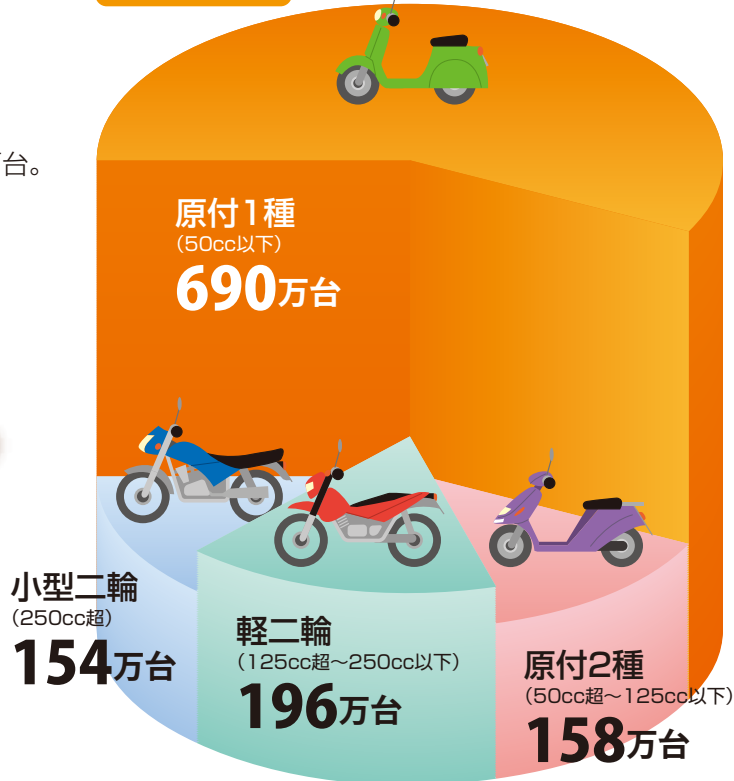


原付1種と原付2種だけで 7割以上。

二輪車の保有台数は、日本全国で総計約1,200万台。
そのうち原付1種が約690万台、原付2種が約158万台。
両方で全体の7割以上を占めています。



二輪車の保有台数



※原付1種、原付2種は、2012年4月1日現在の課税対象台数(総務省調べ)
※軽二輪、小型二輪は、2012年3月末現在(国土交通省調べ)

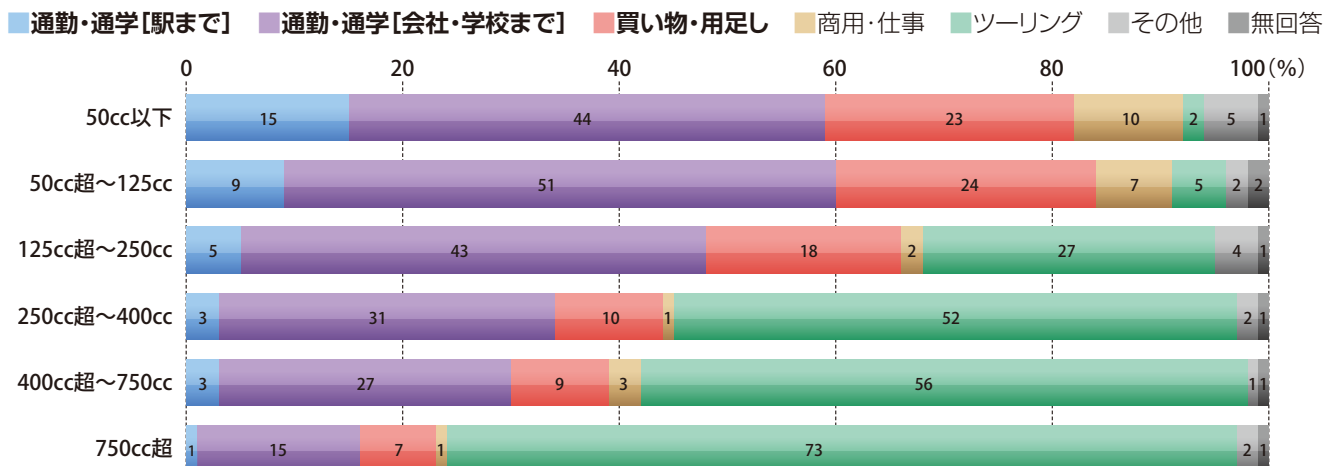
二輪車は
生活に
密着した
乗り物

現在1,200万台
市民の足として活用

主な目的は、
通勤・通学、
買い物など。

二輪車の使用目的は、排気量によって違いが明らかです。
排気量の少ない原付1種と原付2種は、通勤・通学、買い物など日常生活に活用され、
排気量の大きなものほど趣味の領域で使用されています。
二輪車の大多数は市民の実用的な移動手段として普及しているといえます。

二輪車の使用用途

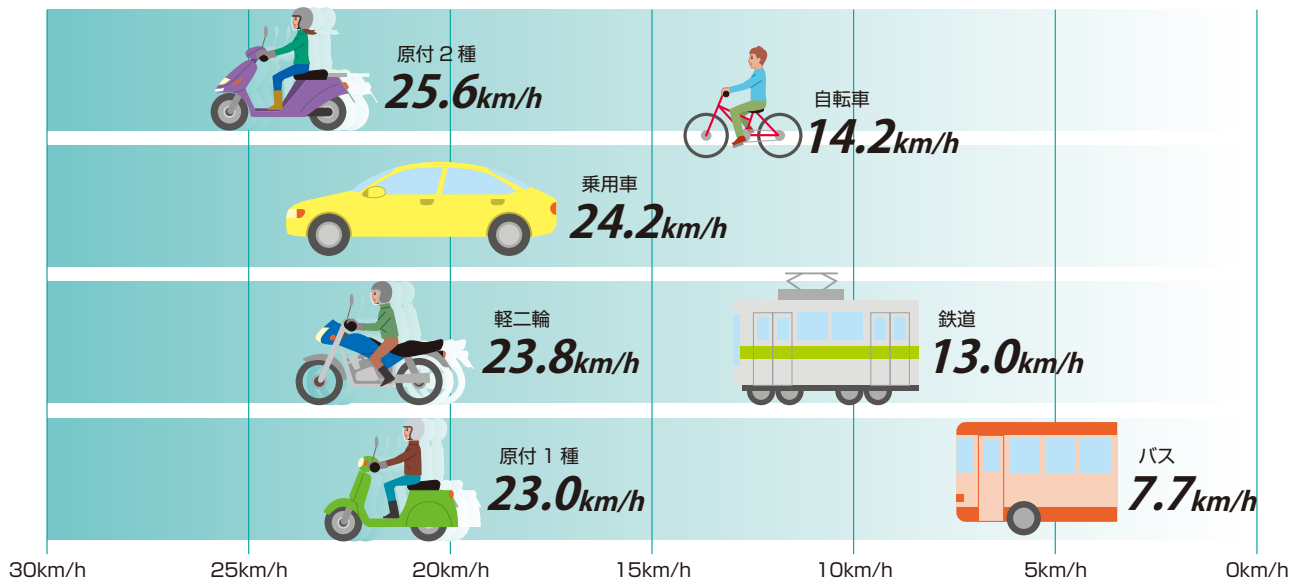


※「2011年度二輪車市場動向調査」日本自動車工業会

実測データ

移動手段別旅行速度調査の結果

渋滞ルート



【渋滞ルート】

朝、昼、夕方それぞれの時間帯で、上下線の平均旅行速度が20km/h未満の区間。東京・三原橋交差点—上野駅前交差点(3.4km)で実施。

二輪車は
都市部ほど
効率的



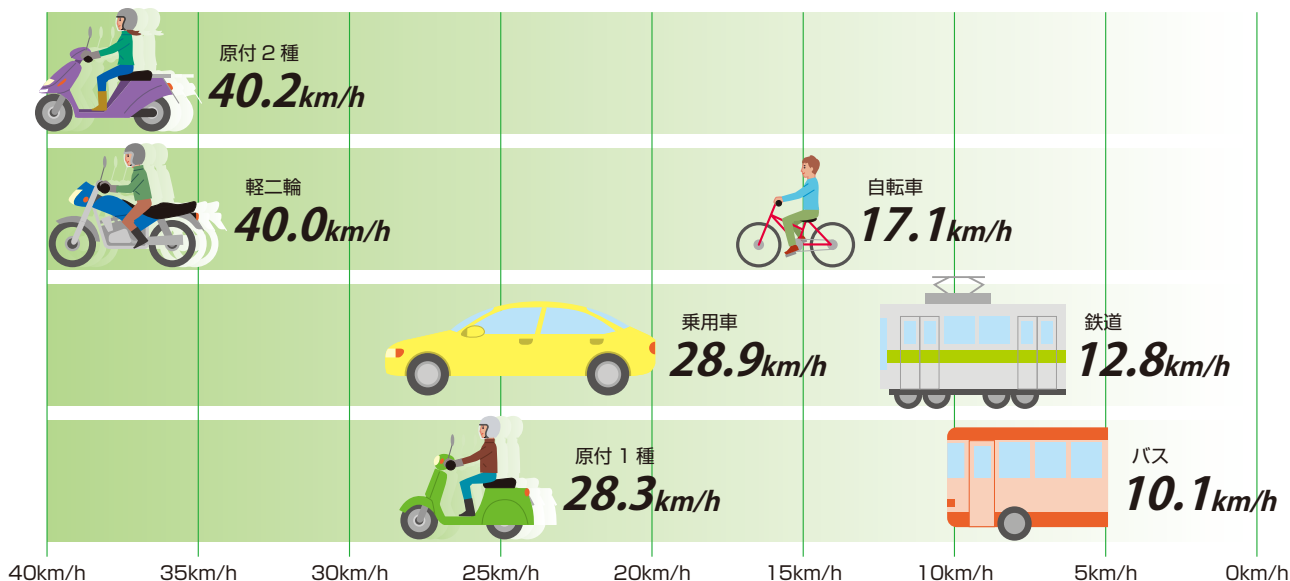
市街地で活躍 二輪車は迅速な移動手段

二輪車(原付1種、原付2種、軽二輪)、乗用車、自転車、鉄道、バス、それぞれの旅行速度を実測調査して比較したところ、二輪車が最も早いという結果に。とくに原付2種と軽二輪は同等に早く、市街地の中ではもっとも迅速な交通手段といえるでしょう。

実測データ

移動手段別旅行速度調査の結果

非渋滞ルート



【非渋滞ルート】

朝、昼、夕方それぞれの時間帯で、上下線の平均旅行速度が25km/h以上の区間。東京等々力不動前交差点—武蔵新田駅前交差点(6.74km)で実施。

二輪車の利用促進で交通渋滞が緩和。

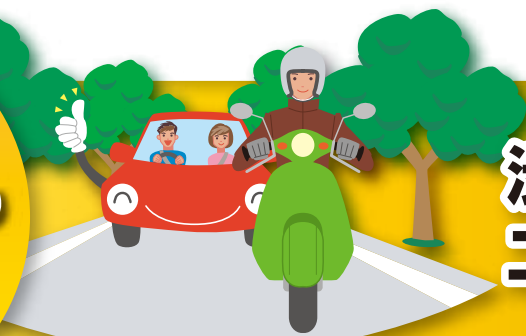
車体がコンパクトな二輪車は占有スペースが小さいため、利用を促進することで交通が円滑になり、渋滞が緩和されることも期待できます。



自動車1台分のスペースに、二輪車が3台も!

※「21世紀の交通社会における二輪車の役割に関する研究」1999年3月 日本自動車工業会

二輪車は
環境負荷も
軽減



渋滞緩和に一役
二輪車の大きな効用

シミュレーション

渋滞時、
二輪車の割合を
高めるとどうなるか。

※交通量のピーク時に全体の交通量に占める二輪車の割合を高めるシミュレーション。

東京都内の渋滞している幹線道路。二輪車の混合率を高めていくと、交通の流れが円滑化され、全体の平均旅行速度が上昇するシミュレーション結果が得られました。



1)「交通工学ハンドブック」等の資料から道路容量に関する二輪車の乗用車換算率を0.33として計算。
2)「警視庁交通年鑑 平成17年版」から各路線の時間帯別平均旅行速度を、「平成17年度 道路交通センサス」から各路線の時間帯別交通量を、それぞれ抽出。

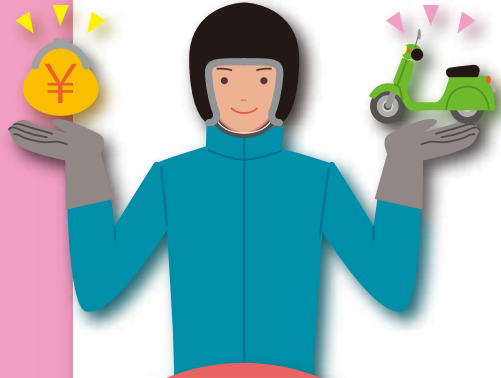
ユーザーは、燃費と維持費を重視して利用。

二輪車を買換えるユーザーは、再購入の主な理由として「燃費の良さ」「維持費の安さ」を挙げています。

これらは環境への優しさ、優れた経済性を意味します。

エコロジーとエコノミー。

二つのエコが二輪車の大きな魅力だといえるでしょう。



燃費の良さ

維持費の安さ

自転車よりも楽だと考えた

二輪は操る楽しさがある

趣味として楽しみたい

仕事の関係で必要になった

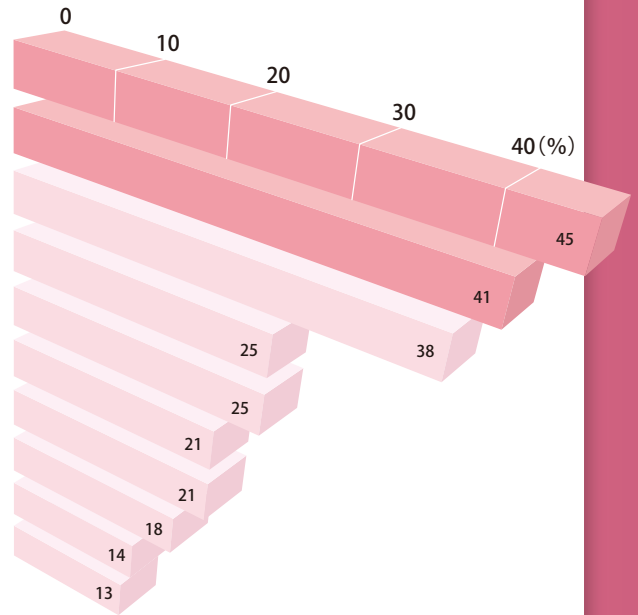
交通の便の悪さを解消したくて

他の交通機関を利用するより安い

一人で移動できる機会が増えた

四輪車の場合駐車場を探すのが面倒

ユーザーが二輪車を再購入する理由



※二輪車(新車)を再購入したユーザーに購入理由を聞いた結果。
「2011年度二輪車市場動向調査」日本自動車工業会

二輪車は

財布にもやさしい

燃費 維持費
二輪車は経済性が魅力

原付1種と原付2種がより経済的。

二輪車の車両購入を含めた運行費用を試算すると、1km走行あたり原付1種は14円、原付2種は17円になります。二輪車はこうした経済性の良さに優れています。

二輪車を5年間使用した場合の費用	原付1種	原付2種	軽二輪	小型二輪
5年間の費用総計	339,330円	432,330円	715,960円	1,287,160円
1kmあたり運行費	1km 14円	1km 17円	1km 29円	1km 51円



二人で移動すればさらに経済的!

※費用総計：車両価格、税金、自賠責、ガソリン代等を含む。メンテナンス費用、車検費用、保管費は含まず。 ※新車購入後5年間で総走行距離25000kmに設定。ガソリン価格1リットル147円で計算。

こんなにすごい！ 二輪車が生み出す“仕事力”。

二輪車の持つ機動力、業務効率、移動時間の正確性などには目を見張るものがあります。小回りが利き渋滞の影響も少なく、また、経済性も高いため、近年多くの企業が二輪車の“仕事力”に注目し、日常の業務に活用しています。なかでも新聞配達や宅配業務、あるいは書類を迅速に届けるメッセンジャー業務に二輪車は不可欠。日本の交通事情、とくに都市部の交通事情にぴったり。まさに混合交通の中で最適の乗り物なのです。

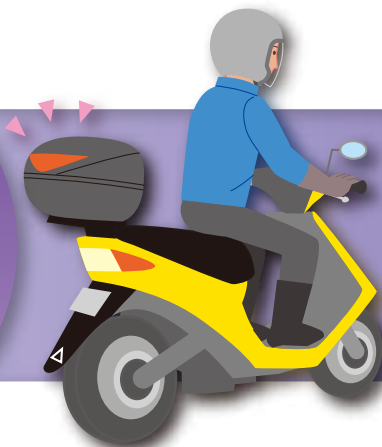


主に宅配業務に活躍する[食品デリバリー]



原付二種のスクーターが大きな仕事力を発揮する[バイク便]

二輪車の
“仕事力”
と
“機動力”



平常時でも緊急時でも 二輪車は働き者

いざというときにも頼もしい 二輪車の“機動力”。

阪神大震災や中越地震、東日本大震災などの大きな災害では、道路は寸断され、大渋滞が発生。そのようなとき小回りが利いて狭い場所にも入っていける二輪車は、被災者の緊急避難の足として役立つばかりでなく、その後の救援活動や被災地支援のボランティアにも活用され復興の支えとなりました。いざというときの避難にも、被災者の支援・救援活動にも役立つ二輪車の頼もしい機動力に、いま注目が集まっています。



写真提供：宮城レスキューサポートバイク



消防バイク[京都市消防局 機動二輪車(愛称:KYOTO REDWING)]